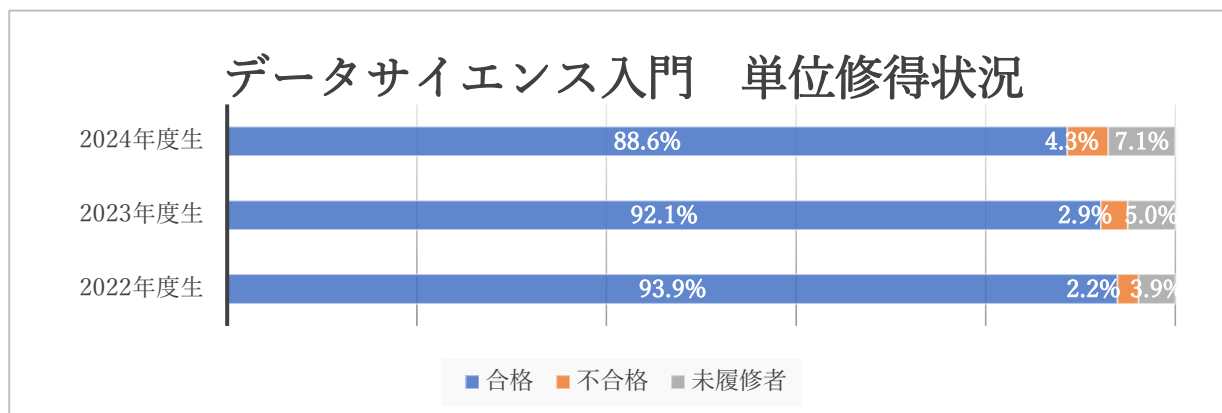


(2025 年度公開) 2024 年度 自己点検・評価資料
数理・データサイエンス・A I 教育プログラム認定制度 リテラシーレベル

1. データサイエンス入門の履修・単位修得状況

データサイエンス入門の履修・単位修得状況を下記の通り、表にまとめた。(1 年次終了時)

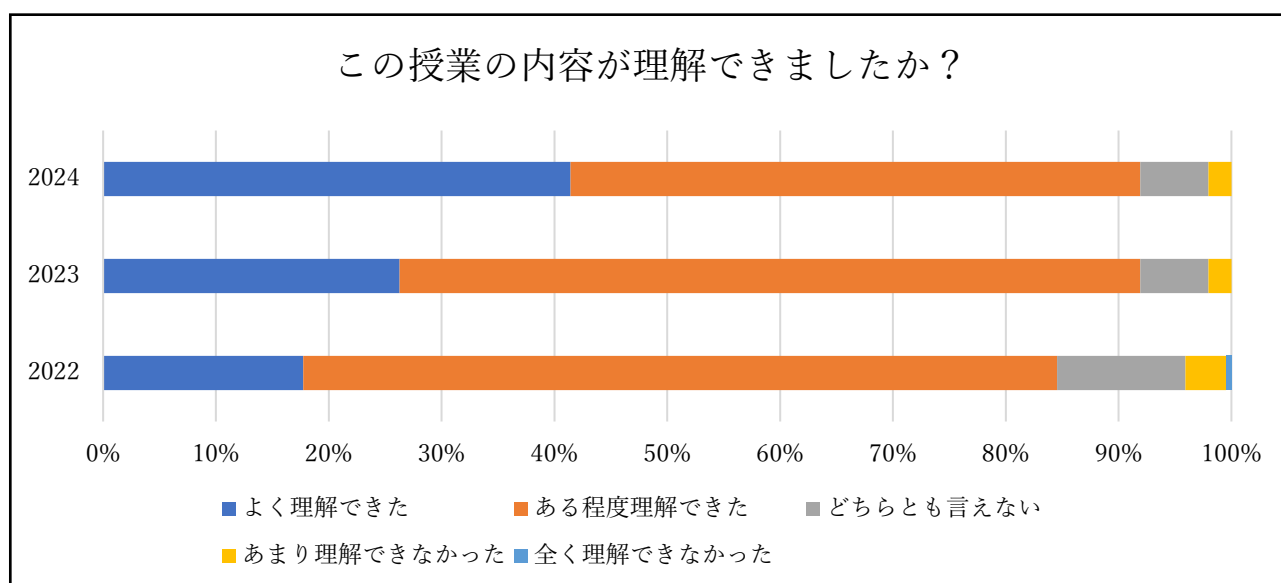


・2022・2023 年度は、1 年次終了時において、90%以上がデータサイエンス入門を単位修得することができていたのに対し、2024 年度は 90%を下回ることとなった。

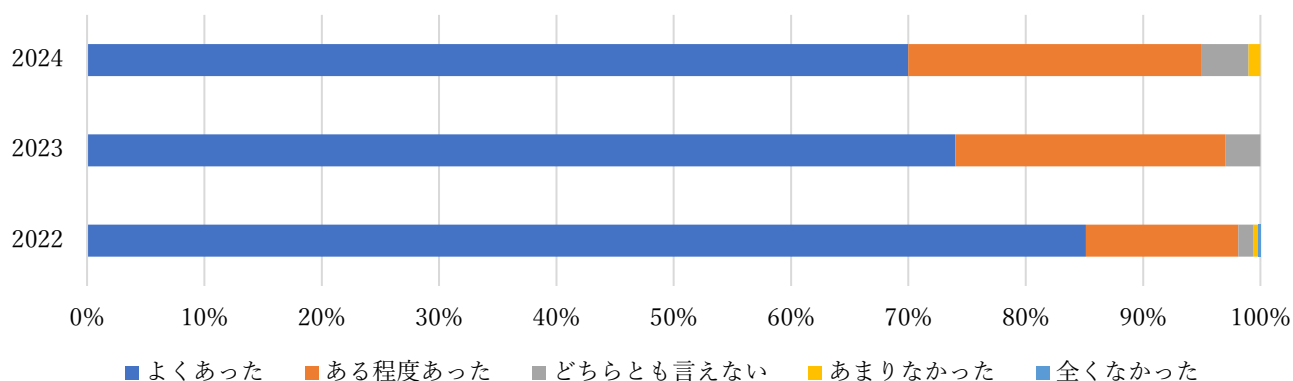
・下回る結果となった一つの要因として、秋入学である EMP 生の在籍者が 2023 年度生 17 名、2024 年度生 35 名と倍増しており、これらの学生は時間割配当の関係上、翌年度から履修開始となるため、この人数が影響していると思われる。ただし、この要因を取り除いたとしても、2023 年度生よりも不合格者の人数が増えている傾向にあるため、学習支援が必要な学生が増えていると推察する。引き続き、不合格・未履修者へのフォローを行っていく必要がある。

2. 授業アンケートを通じた内容の理解度等について

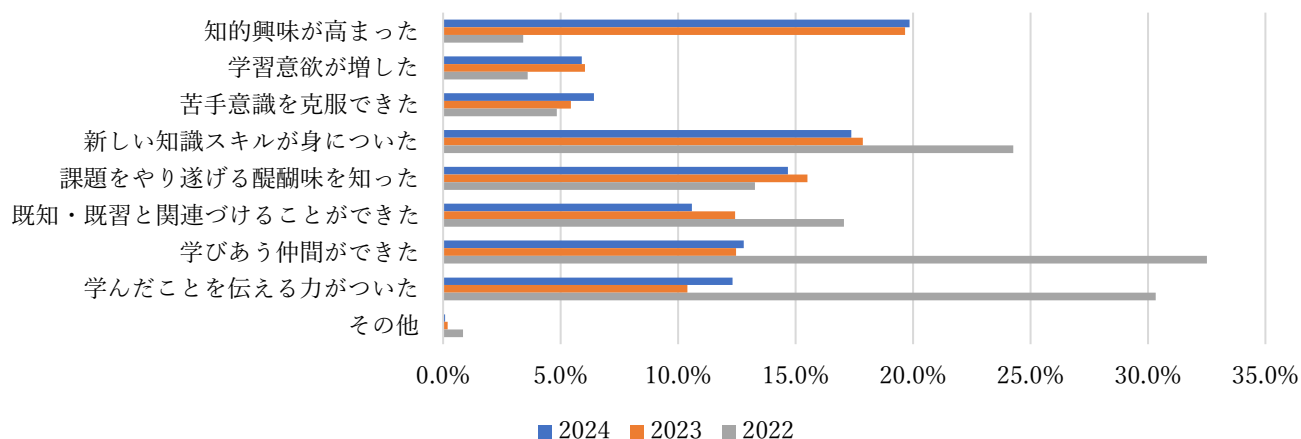
授業最終回にて履修者へ実施している授業アンケートについて、内容の理解度や満足度を示す設問について、3 つを抜粋し、下記の通り、表にまとめた。



この授業全体を通して、アクティブ・ラーニング
などの能動的に学ぶ機会がありましたか？



あなたがこの授業を受講して満足した項目について
当てはまるものがあれば選んで下さい。
(複数回答可)



・この授業の内容が理解できたかとの設問に対して、「ある程度理解できた」「よく理解できた」と回答した学生が約90%を占めており、2023年度と同様の水準となった。

・授業全体を通して、アクティブ・ラーニングなど能動的に学ぶ機会があったかとの設問に対して、「よくあった」「ある程度あった」と回答した学生が95%を占めており、2023年度とほぼ同率であった。

・満足した項目において、2022年度は「学び合う仲間ができた」「学んだことを伝える力がついた」の回答割合が比較的高かったが、2023・2024年度は「知的興味が高まった」の割合が高い傾向にあった。これらの結果については、2023年度以降、SA負担を減らす授業形態へ変更したことに伴い、担当教員の采配で、学部のカリキュラムや学生の雰囲気に合わせて授業内活動を変更できるようになり、知的興味が高まったと推察できる。併せて、多様な学生に対応するためグループ課題を減らしたことが、「学び合う仲間」「伝える力」の回答の減少につながっていると思われる。